

**東京応化工業株式会社
決算説明資料**

-2010年3月期決算-

2010年5月12日

目次

1. 2010年3月期連結決算概要 p.2
2. 2011年3月期連結決算予想 p.10
3. “新生” 東京応化の始動 p.16
～事業領域の深化と新しい事業領域の取組み～

2010年3月期連結決算概要

業績概要

(百万円、%、円/ドル)

	2009/3	2010/3		
			増減	増減率
売上高	83,702	70,560	-13,142	-15.7
営業利益	-1,515	279	+1,795	—
経常利益	-1,534	913	+2,447	—
当期純利益	-4,656	254	+4,911	—
為替	100.9	91.4	—	—

事業別セグメントの業績

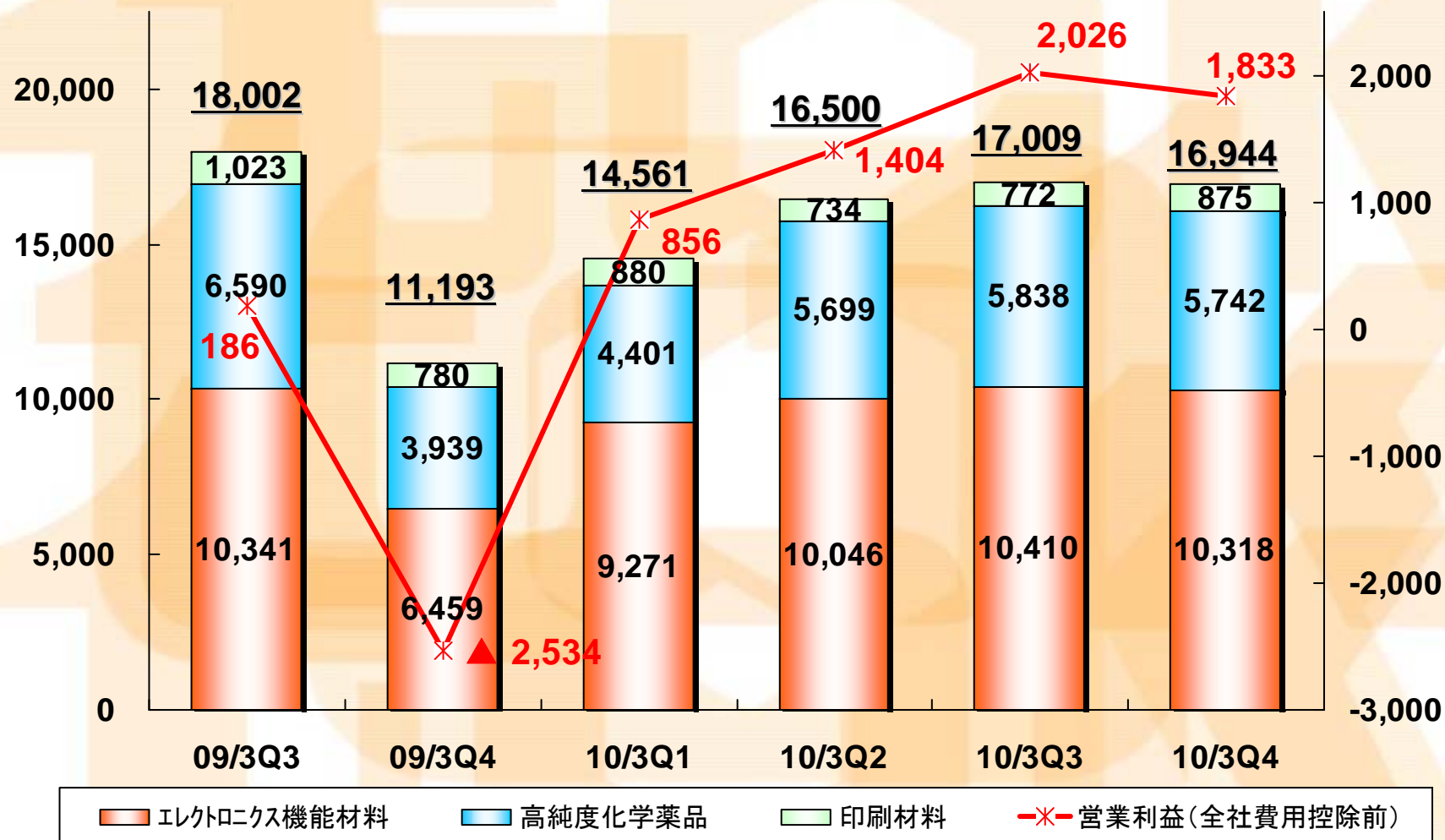
(百万円、%)

	2009/3	2010/3		
			増減	増減率
売上高	83,702	70,560	-13,142	-15.7
材料事業	72,495	65,016	-7,479	-10.3
エレクトロニクス機能材料	43,898	40,046	-3,851	-8.8
高純度化学薬品	24,641	21,681	-2,959	-12.0
印刷材料	3,837	3,262	-574	-15.0
装置事業	11,206	5,543	-5,662	-50.5
営業利益	-1,515	279	+1,795	—
材料事業	3,322	6,122	+2,799	+84.2
装置事業	-425	-2,208	-1,783	—
消去又は全社	-4,413	-3,633	+779	—

材料事業の業績推移

売上高（百万円）

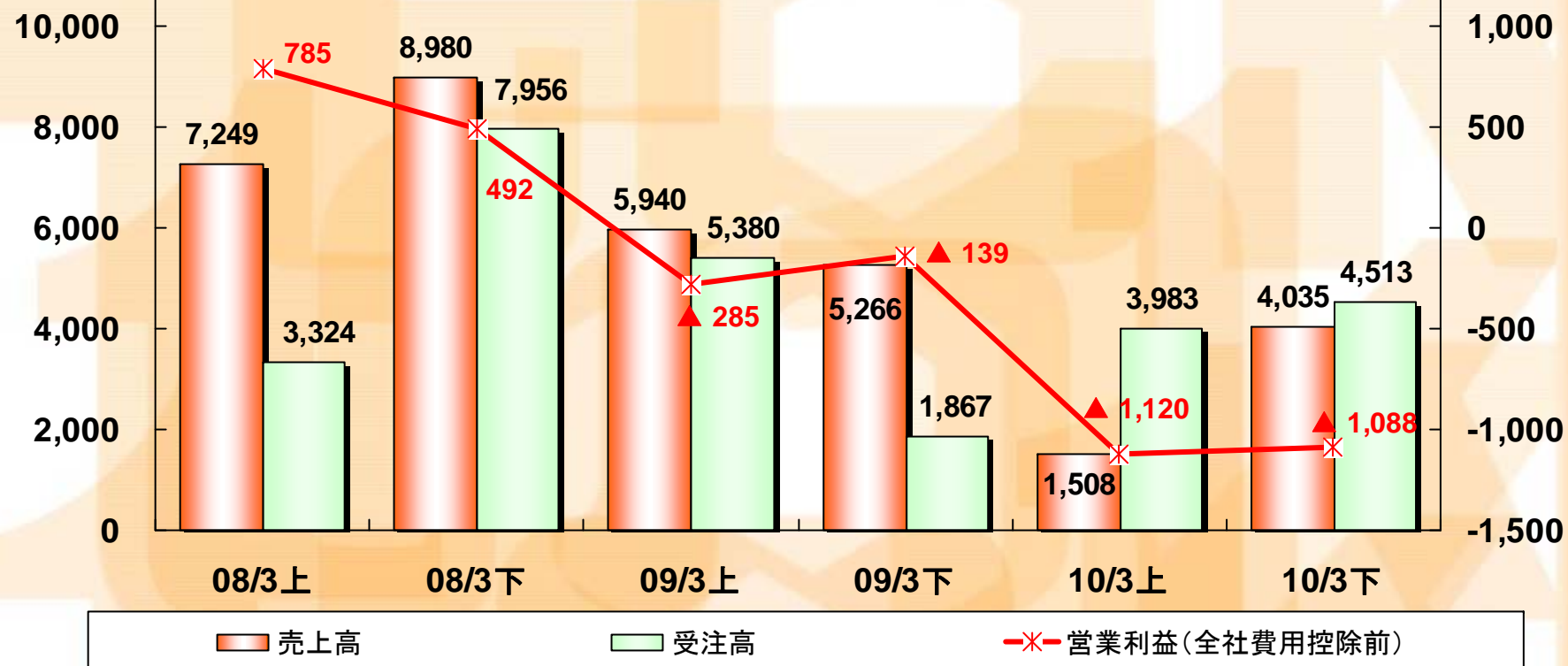
営業利益（百万円）



装置事業の業績推移

売上高・受注高
(百万円)

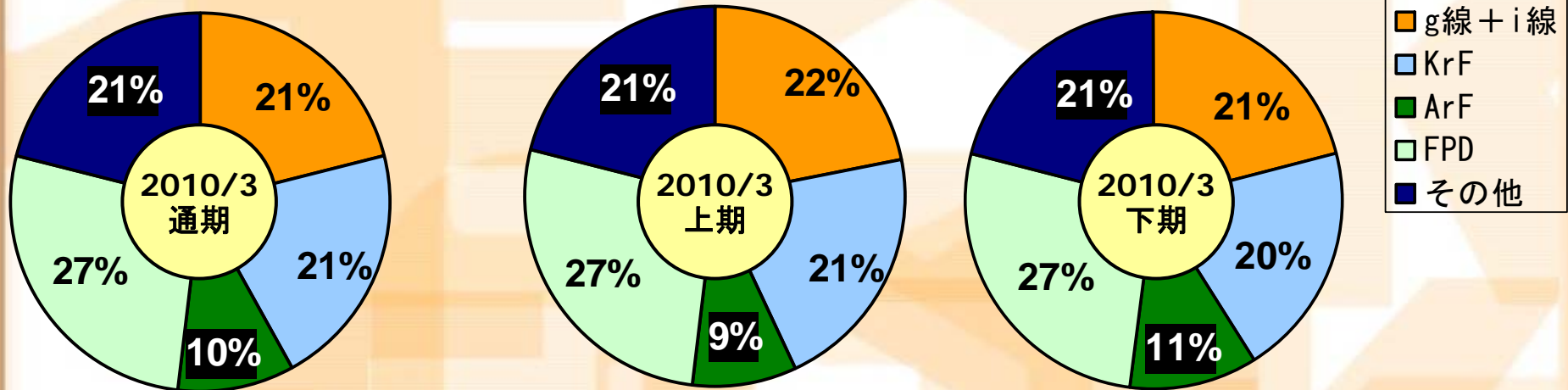
営業利益 (百万円)



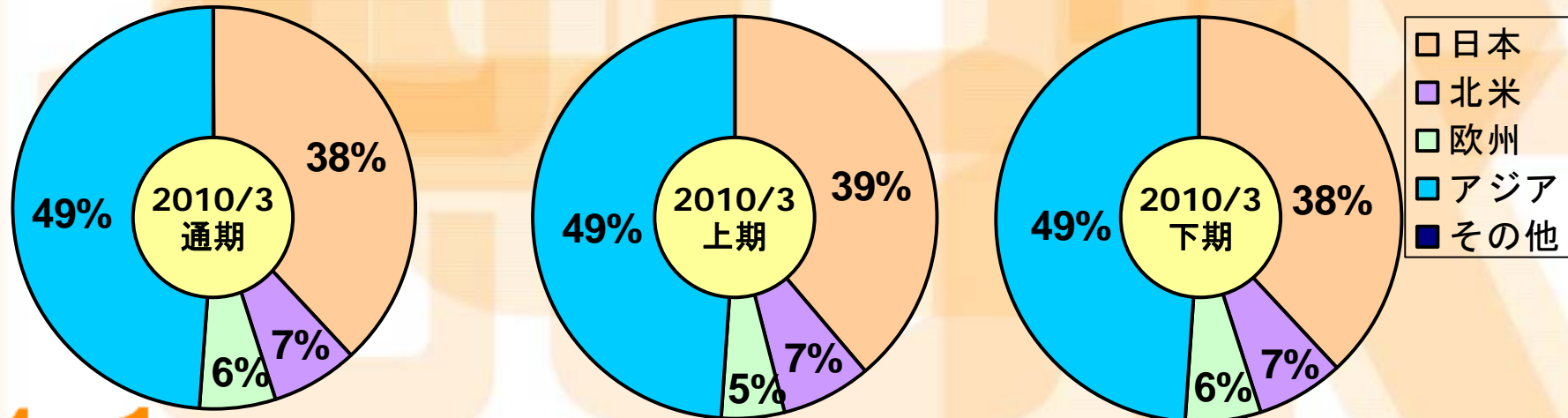
(百万円)	07/9	08/3	08/9	09/3	09/9	10/3
受注残高	17,992	17,016	16,456	13,057	15,541	16,009

エレクトロニクス機能材料部門の状況

種類別売上構成推移



地域別売上構成推移



比較貸借対照表

(百万円)

	2010/3	09/3末比	
流動資産	82,751	+2,084	売上債権 +2,468 たな卸資産 +975 現金預金 -1,689
内、現金預金	38,393	-1,689	
有形固定資産	34,370	-4,777	設備投資 +1,320 減価償却の進行 -5,418
無形固定資産	402	-182	
投資その他の資産	20,597	+1,660	投資有価証券 +905 長期貸付金 +439
流動負債	18,113	-642	買入債務 +1,111 未払費用 -818 短期借入金 -339 前受金 -186
買入債務	8,318	+1,111	
前受金	4,167	-186	
固定負債	2,350	+145	
純資産合計	117,658	-719	その他有価証券評価差額金 +554 利益剰余金 -1,185
総資産	138,122	-1,215	

キャッシュフロー

(百万円)

	2009/3	2010/3	
営業キャッシュフロー	+10,802	+2,531	
税金等調整前当期純利益	-5,325	+114	
減価償却費	+7,297	+5,418	
売上債権の増(-)減額	+12,020	-2,919	売上回復に伴う運転資金増
たな卸資産の増(-)減額	+2,745	-1,119	
仕入債務の増減(-)額	-3,199	+1,353	
前受金の増減(-)額	-3,610	-186	主な内訳 定期預金の純減 +11,460
法人税等の支払い	-2,428	+647	長期預金の預入 -5,000
投資キャッシュフロー	-2,309	+3,973	有形固定資産の取得 -1,474
財務キャッシュフロー	-2,972	-1,810	主な内訳 配当金の支払 -1,436
換算差額	-602	-42	
現金及び現金同等物の増減額	+4,918	+4,651	



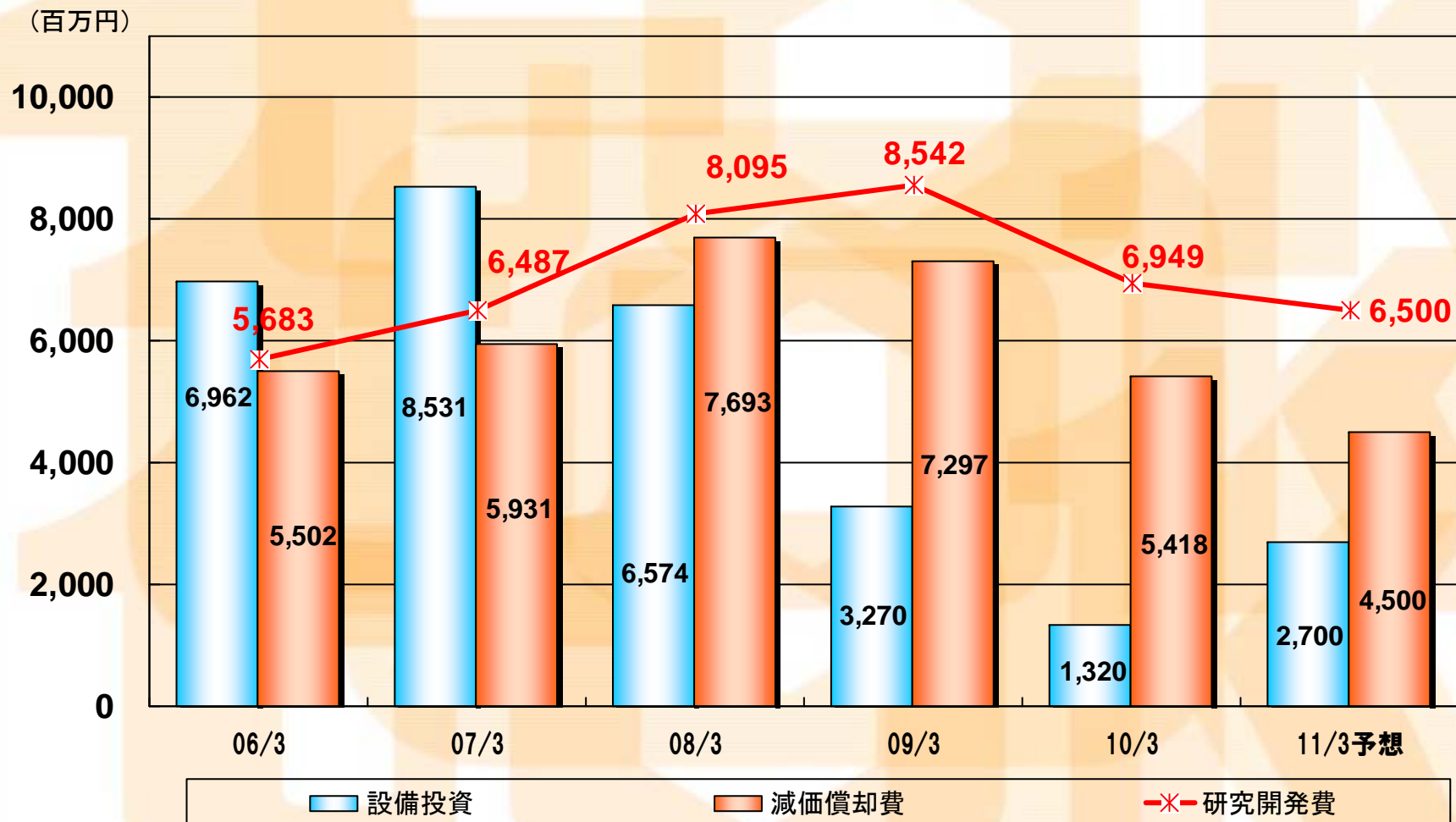
2011年3月期連結決算予想

業績予想概要（通期）

（百万円、%、円/ドル）

	2010/3 実績	2011/3予想		
			増減	増減率
売上高	70,560	77,000	+6,439	+9.1
営業利益	279	3,500	+3,220	+12.5倍
経常利益	913	3,900	+2,986	+4.3倍
当期純利益	254	2,200	+1,945	+8.6倍
為替	91.4	90.0	—	—

設備投資・減価償却・研究開発



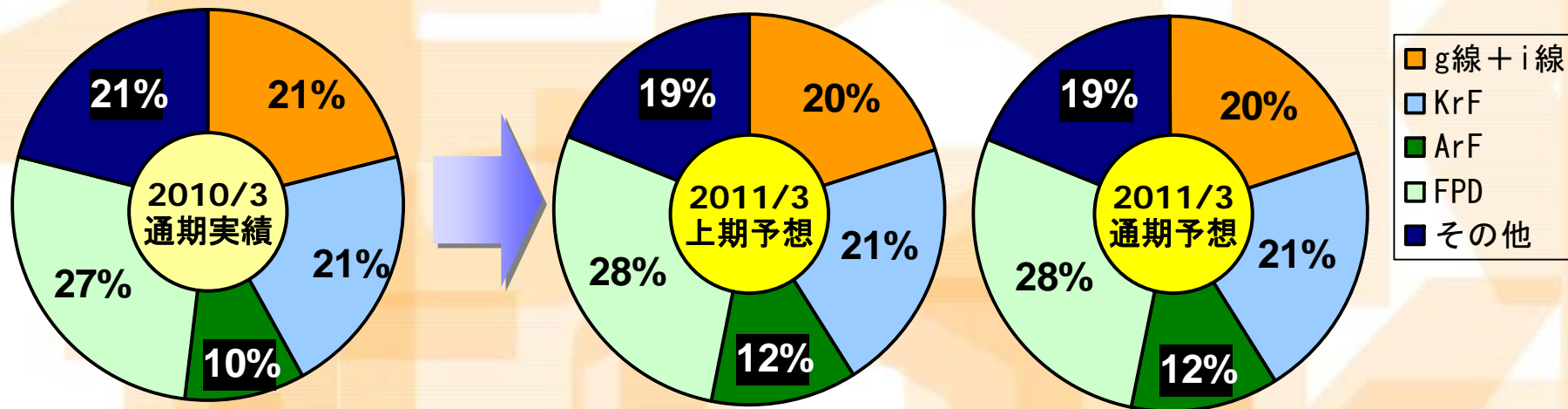
事業別セグメント業績予想

(百万円、%)

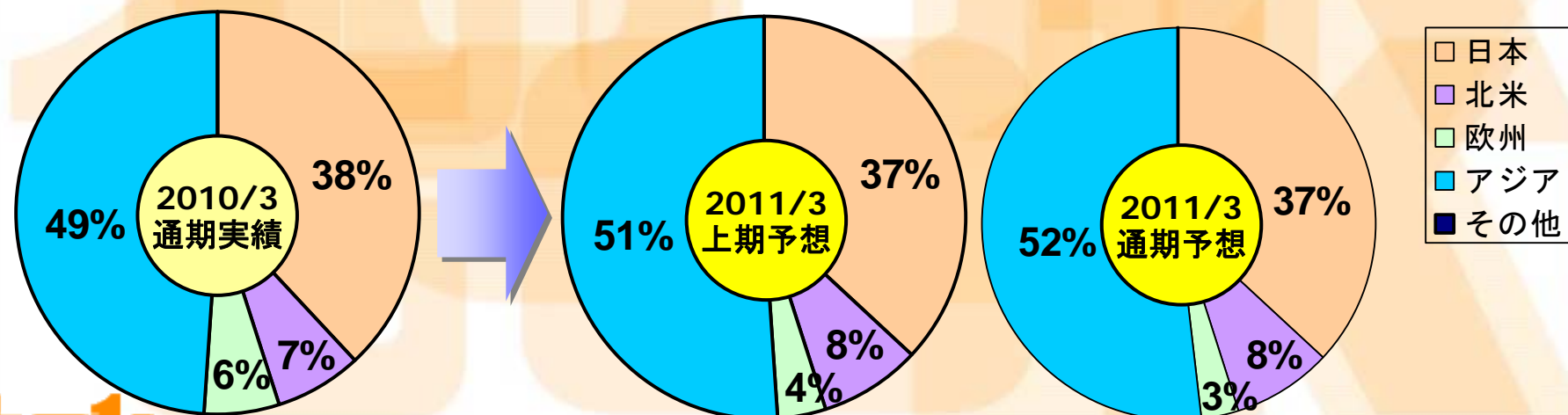
	2011/3 上期予想	2011/3通期予想		
			増減	増減率
売上高	37,000	77,000	+6,439	+9.1
材料事業	33,900	68,400	+3,383	+5.2
エレクトロニクス機能材料	21,400	43,400	+3,353	+8.4
高純度化学薬品	11,000	21,900	+218	+1.0
印刷材料	1,500	3,100	-162	-5.0
装置事業	3,100	8,600	+3,056	+55.1
営業利益	1,650	3,500	+3,220	+12.5倍
材料事業	4,200	8,400	+2,277	+37.2
装置事業	-700	-1,200	+1,008	—
消去又は全社	-1,850	-3,700	-66	—

エレクトロニクス機能材料部門の予想

種類別売上構成



地域別売上構成



地域別売上高の予想

(百万円)

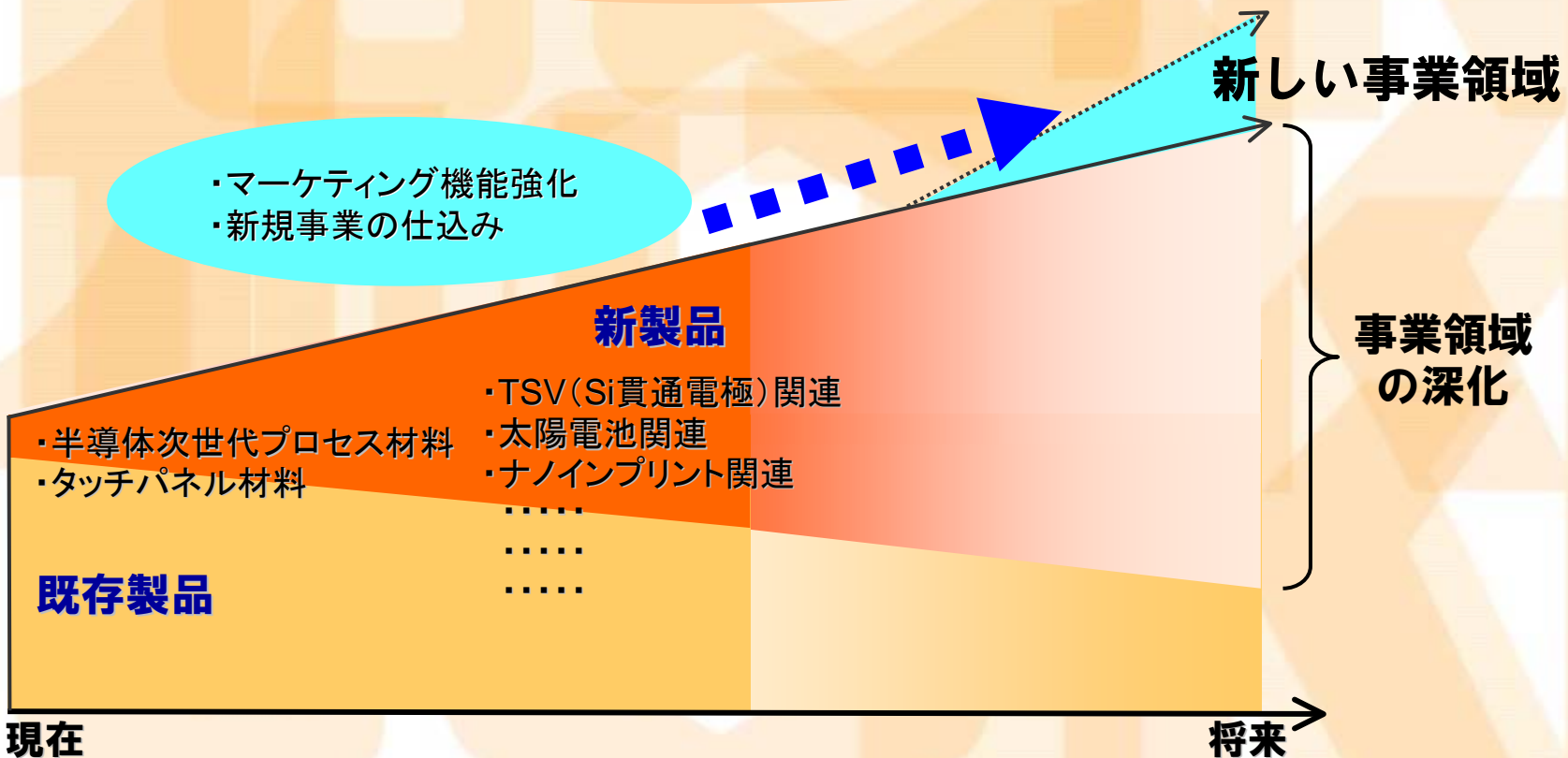
	2010/3上期実績			2010/3通期実績		
		材料	装置		材料	装置
日 本	14,137	13,291	846	29,527	26,687	2,839
北 米	2,771	2,767	3	6,610	6,429	180
欧 州	1,853	1,852	1	4,009	4,007	1
ア ジ ア	13,702	13,046	656	30,103	27,583	2,519

	2011/3上期予想			2011/3通期予想		
		材料	装置		材料	装置
日 本	14,600	14,000	600	30,900	28,000	2,900
北 米	3,300	3,300	0	6,700	6,700	0
欧 州	1,600	1,600	0	3,200	3,200	0
ア ジ ア	17,400	14,900	2,500	36,000	30,300	5,700

“新生” 東京応化の始動

～事業領域の深化と新しい事業領域の取組み～

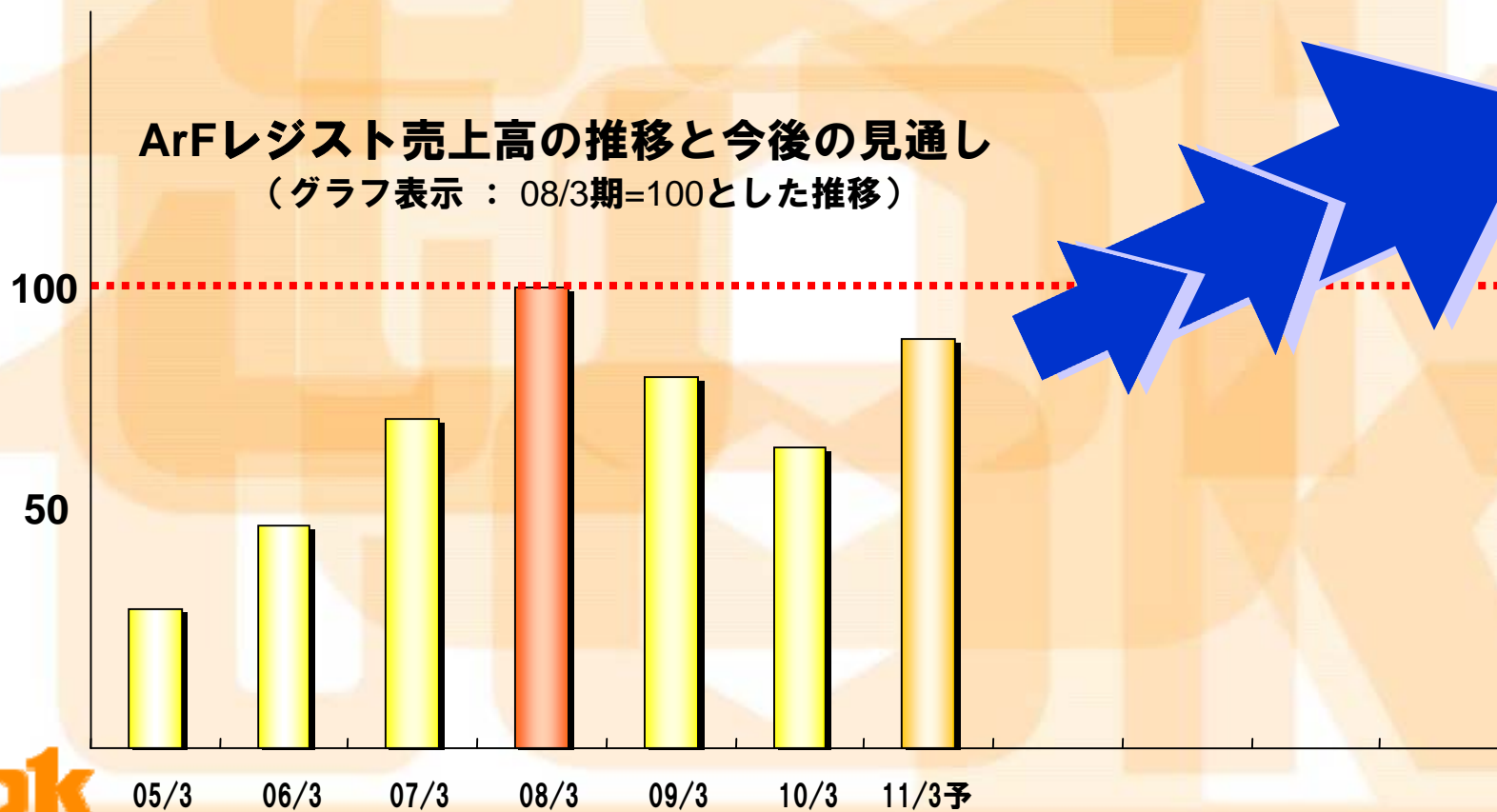
事業領域の深化と新しい事業領域の取組み



半導体次世代プロセス材料①

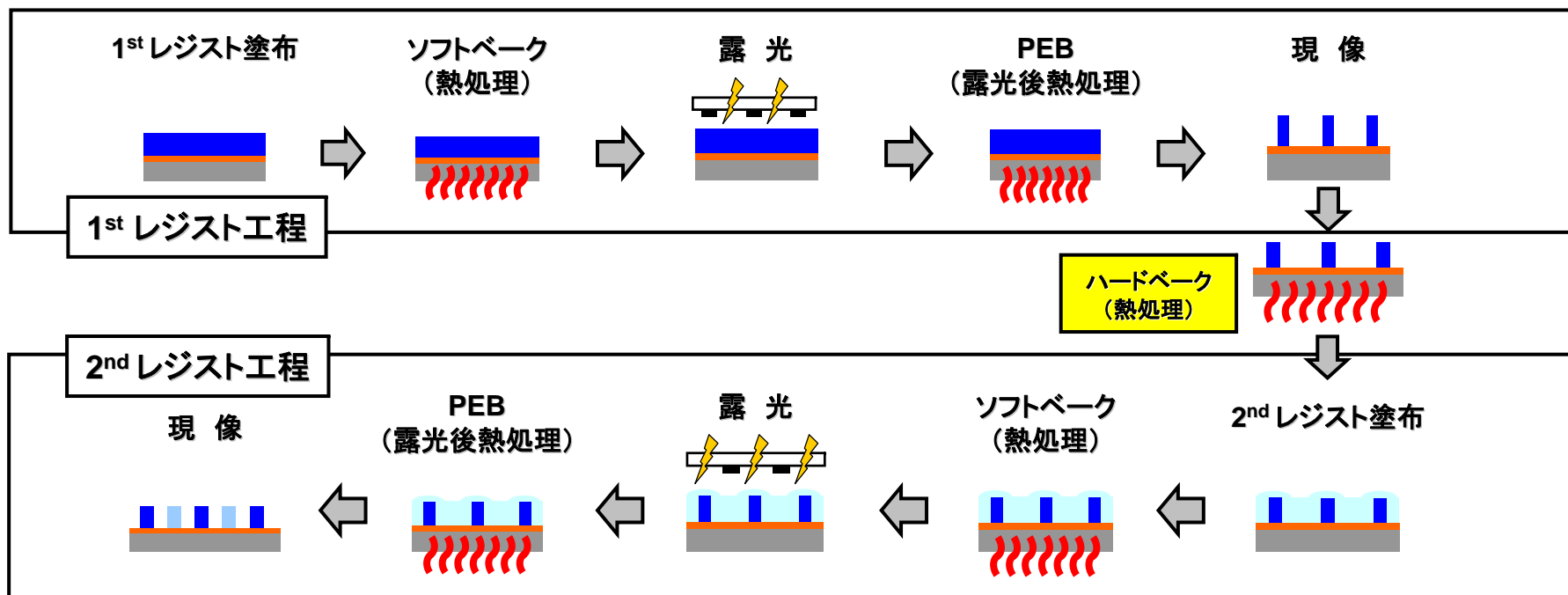


ArFレジスト売上高の推移と今後の見通し
(グラフ表示：08/3期=100とした推移)



半導体次世代プロセス材料②

東京応化のダブルパターニング技術の特色 (フリージングフリー・LLEプロセス)



- 1stレジスト後のハードバーク
 - 2ndレジストに特殊な溶剤を使用
- ➡ 2ndレジストプロセスによる
1stレジストパターンへのダメージを防止

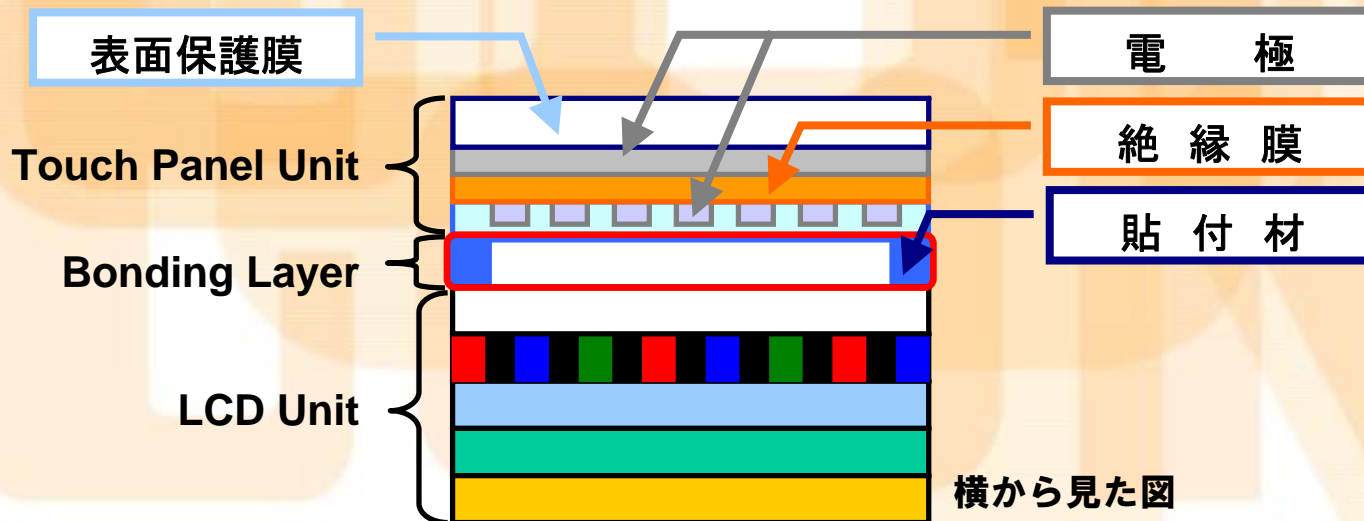
プロセスが簡便で、コストメリットが大きい。

タッチパネル材料

LCD関連材料で培った技術の転用・改良



■ 静電容量式タッチパネルの構造とTOK製品



“新生” 東京応化の始動



売上高50億円規模の
新製品創出

- ・ 新規事業創出力
- ・ 技術競争力
- ・ 国際競争力
- ・ 市場占有力
- ・ 財務資本力
- ・ 事業組織力
- ・ 人的資本力
- ・ ブランド力
- ・ 知的資産力
- ・ 挑戦力

“新生” 東京応化の始動

<http://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。